



全国中学校柔道大会で
3位

田島 優人さん 14歳
大和町二丁目

自分を支えてくれる人たちに感謝して

8月に行われた全国中学校柔道大会の66キ級で3位に輝いた。

「小5の時から全国大会に出場してきましたが、今までで最高の結果が残せました。家族や友人がとても喜んでくれてうれしかったけど、優勝を逃してしまっただことは残念です。高校では、絶対に優勝したいですね」

毎日、学校の部活動で練習した後も、父親が師範を務める道場で夜遅くまで鍛錬を重ねている。

「一緒に練習する仲間がいることが、厳しい練習を乗り越えるモチベーションにつながっています。試合の時もお互いに応援して励まし合っています」

柔道を始めたのは、3歳の時。柔道をやっていったら5歳上の姉の練習について

くうちに、自然と柔道に親しむようになった。今でも家族一丸となって柔道に向かっている。

「父を尊敬しています。練習の時は全力でぶつかっているのでも厳しいですが、家で柔道の話はしないんです。そこに家族を気遣う思いやりを感じています」

将来の夢は警察官になること。人の役に立てる仕事に魅力を感じている。

「警察官の姉は、家で仕事のやりがいについて話してくれます。人に感謝される仕事なのだと思っています」

試合では自分を支えてくれる人たちに感謝しながら畳に上がるという田島さん。全国優勝を目指すひたむきな姿が、多くの人に感動を与えてくれるだろう。

見たい

知りたい

伝え隊

今回のテーマ
「前橋まつり」



本市の三大まつりに数えられる前橋まつり。第二次世界大戦後の昭和24年に「商工祭」として開催されたのが始まりといわれています。敗戦と食糧難で意気消沈していた市民に、復興への活力をよみがえらせたという思いで始まったこの祭りは、町ごとの山車や広告行列、芸能大会などが行われ、大いに盛り上がったことが、当時の資料から知ることができ

ます。それ以降、商工祭は年中行事として定着しました。昭和34年には「前橋まつり」と改称し、全市民参加の催しとして一新。この年は自衛隊の吹奏楽行進やミス前橋パレード、仮装行列のほか、花火大会も開催され、期間中は数十万人を超える人出があったそうです。

みんなの声

市民みんなが参加できるのが前橋まつり。わたしも子どもころは鼓笛で、今はだんべえ踊りで参加しています。



(小川裕子さん・紅雲町一丁目)
平成4年、「祝・市政100周年」とだけ残して後頭部を刈り込んでみこしを担いだところ、テレビに映してもらったのがいい思い出です。

(清水隆一さん・三河町一丁目)
4年前に前橋市に引っ越してきて以来、毎年一番楽しみなお祭りです。

(及川聡子さん・元総社町)

今回のテーマは「スマイルボウリング」。大会に参加した時の思い出などのエピソードをお待ちしています。10月3日(月)までに、住所・氏名・電話番号を記入し、市役所市政発信課「見たい知りたい伝え隊」係へハガキかEメール (strei@nassin.city.maebashi.gunma.jp) へ

クローズアップ



前橋の魅力を目いっぱい体験

9月3日から市内各地で、まえばしフェスタを開催しました。まちなかでは、風のまち音楽祭や駅家の木馬まつり、ご当地グルメ合戦などイベントが目白押し。市内外からは大勢の人が訪れ、前橋の魅力を思う存分体験しました。



健康生活を始めましょう

8月28日、けやきウォーク前橋で健康アップ体験会を開催しました。食事バランスチェックや体組成計での検査、呼気中一酸化炭素濃度の測定などで体をチェック。会場は、自分の体を見直そうと、多くの方が保健師の話を熱心に聞いていました。



水難事故を防ぐために

9月6日、芳賀小で水難事故を防ぐ方法を学ぶ「水辺の安全教室」を行いました。6年生110人が参加し、プールで着衣泳を体験。ペットボトルやレジ袋を浮き袋として使えることに驚きの声が上がりました。2人1組で協力し、助け合いながら取り組みました。